

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4320 文化施設管理事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費											
	事業	010000 文化施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
須坂市文化会館、須坂版画美術館などの芸術文化施設を有効に活用した、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。						<ul style="list-style-type: none"> ・須坂市文化会館、美術館等文化施設の管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう。 ・「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化施設の充実を図る。 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。笠鉾会館ドリームホールを博物館分館とするため、2021年3月31日で指定管理者による管理を終了とした。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		179,732	163,955
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	148	147
一般財源		179,584	163,808
人員数(人)	正規職員	0.3	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	2,787.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,090.4	2,787.2
市民一人当たりの経費		3.5	3.2
総額		181,822.4	166,742.2

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,404	修繕料2,404
12節 委託費	161,832	支障木伐採委託料432、指定管理者委託料(文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅)161,400
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,496	使用料及び賃借料(土地借上料、機器賃借料)15,132、備品購入費(展示資料等購入費)364

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,773	修繕料2,773
12節 委託費	145,922	指定管理者委託料（文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅）145,330、支障木伐採委託料592
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,260	使用料及び賃借料15,160(土地借上料、機器賃借料)、備品購入費100(展示資料等購入費)

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	文化芸術活動振興のため、施設の維持管理は必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度導入から10年以上が経過し、制度自体の理解を含む制度運用全体の見直しが必要 市直営施設との連携が難しい、直接の指示ができない（お願いとなる）など、指定管理によるデメリットもあり、一時期のような指定管理に出せるものは指定管理者でという考え方もどうかと思う。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理者とともに施設の維持管理を行っていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各施設ともに老朽化が進んでいるため施設管理が大変になってきている。
施設開設から経年が経過し、敷地の樹木が成長大型化し、維持管理費が増大してきている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
-----------	------------

総合評価コメント

文化施設における指定管理のあり方や、方向性を考える必要がある。

2次評価コメント

まるごと博物館構想や機能分散型総合博物館の具体的な取り組みを進める上で、文化施設の指定管理全体を再検討する必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--